

千葉県道路舗装協会の取り組み

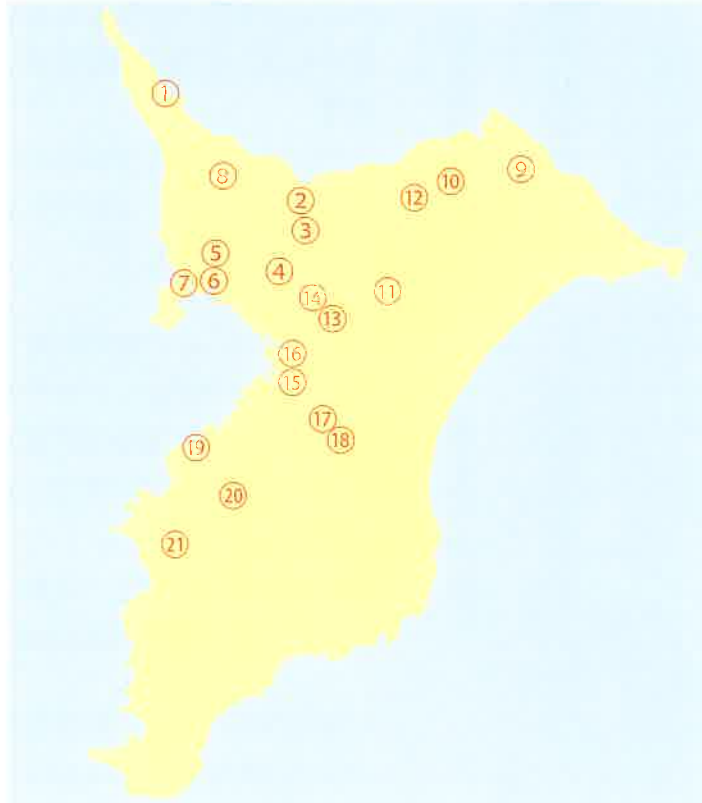


千葉県道路舗装協会では中温化技術の重要性を幅広く伝えるため様々な活動を通し普及・啓発を行って参りました。これまでに県との意見交換会などの協会活動において中温化材の早急な設計導入を強く要望を続け、千葉県内の合材工場の半数以上が中温化材の認定取得に至るまでになりました。これもひとえに皆様のご理解、ご協力の賜物です。これからも当協会として更なる普及・有効活用のために尽力していく所存です。

千葉県内 中温化A S混合物対応工場一覧

① ㈱ガイアート野田合材工場	野田市目吹
② 共同企業体 千葉共同アスコン	白井市河原子
③ 前田道路㈱総武合材工場	船橋市小野田町
④ 東瀝青建設㈱ 船橋工場	船橋市習志野
⑤ 前田道路㈱船橋合材工場	船橋市西浦
⑥ ㈱京葉アスコン	船橋市西浦
⑦ ㈱サンドテクノ	市川市千鳥町
⑧ 共同企業体トーセキアスコン	柏市風早
⑨ 共同企業体 東総アスコン	香取市上小堀
⑩ 共同企業体成田アスコン	成田市津富浦
⑪ 世紀東急工業㈱佐倉混合所	佐倉市太田
⑫ 鹿島道路㈱成田合材製造所	成田市吉倉
⑬ 共同企業体 千葉アスコン	稲毛区六方町
⑭ 前田道路㈱千葉合材工場	稲毛区六方町
⑮ 前田道路㈱市原合材工場	市原市八幡浦
⑯ 大林道路㈱・鹿島道路㈱V千葉りんかいアスコン	中央区村田町
⑰ 大成ロテック㈱房総合材工場	長柄町長柄山
⑱ 太陽建設㈱ながら合材センター	長生郡長柄町針ヶ谷
⑲ 袖ヶ浦アスコン㈱	袖ヶ浦市南袖
⑳ 前田道路㈱木更津合材工場	木更津市矢那
㉑ 共同企業体 南総共同アスコン	富津市亀沢

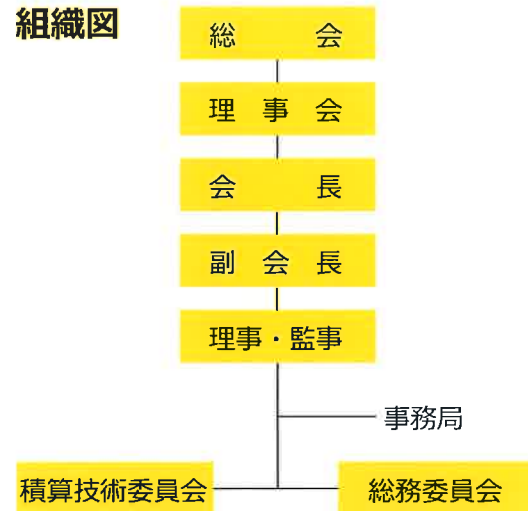
中温化アスファルト混合物対応工場位置図



会員一覧 <11 地区・55 会員> (令和8年4月1日現在)

千葉・市原地区	㈱船越組 京葉工管㈱ 新千葉建設㈱ ㈱南武建設 山十道路㈱ 松倉工業㈱ 本田土木工業㈱ 杉田建設㈱ 千葉ニチレキ㈱
葛南地区	㈱サンドテクノ ㈱保戸田組 高根建設㈱ 櫻工営㈱ 勝美建設㈱ 工営建設㈱ 東日本都市開発㈱ 不二公業㈱ ㈱長福 ㈱日本都市 カネケン京葉コミュニティ㈱ 土佐工業㈱ 千東建設㈱ 田丸興業㈱ 尾頭建設㈱ ㈱映光 T Y ㈱齊藤総業 雅野建設㈱ トキワ建設㈱ 武内建設㈱ ㈱鹿野建設 ㈱松丸開発工事 ㈱中川組 ㈱及建
東葛飾地区	秋元興業㈱ ㈱湯浅建設
印旛・成田地区	東邦建設㈱ 丸勝建設㈱ ㈱一福土木 萩原土建㈱ 高秀建設㈱
香取地区	前田建設㈱ 石井工業㈱
海匝地区	阿部建設㈱ ㈱ニューテック康和千葉支店
山武地区	鈴木土建㈱
長生地区	丸信工業㈱ 太陽建設㈱
安房地区	安房舗装土木㈱ ㈱大兼工務店 田中建設㈱
君津地区	石村建設㈱ 興和建設㈱
県外法人	東亜道路工業㈱千葉支店 ㈱ NIPPO 千葉統括事業所 福田道路㈱千葉営業所

組織図



一般社団法人千葉県道路舗装協会

事務局 〒260-0024
千葉市中央区中央港 1-13-1
千葉県建設業センター 3 階
TEL 043-246-7388
FAX 043-246-7385
E-mail: chiba-dourohosou@poem.ocn.ne.jp
URL: http://www.chiba-dourohosou.jp/



千葉のみちを守る



会長
渡邊 義隆

一般社団法人千葉県道路舗装協会は昭和 59 年 4 月千葉県知事の認可を得て社団法人として創設、平成 25 年 4 月には一般社団法人へと移行し現在に至っております。この間、長年培ってきた技術集団として持てる技術を十分発揮し、会員は勿論のこと発注者側にも広く確かな技術の修得等研鑽を積みながら、次の事業等を毎年度行い舗装技術の向上と、その普及・啓発に努めております。

- 1 「舗装技術研修会」の開催 ※
- 2 「舗装施工管理技術者資格試験の受験準備講習会」の開催 ※
- 3 「多機能・改善型舗装の追跡調査及び報告書の作成並びに報告会」の開催
- 4 「県との意見交換会」の開催
- 5 「県及び市町村からの設計見積依頼」等の支援対応

※(一社)全国土木施工管理技士会連合会継続学習制度(CPD S)単位取得対象

技術者育成のための知識習得や調査・提言などを積極的に行い、

人と物が行き交う道

救助や応急復旧に必要な命の道

県民生活の安全・安心を提供する道

の整備・保全に向け、私達がその一翼を担ってまいります。

一般社団法人千葉県道路舗装協会

特集：中温化合物材（低炭素アスファルト舗装）



中温化合物材ってどんな合材？

アスファルトをバブル状に発泡させることで一時的に粘度を下げて、施工性が良くなる合材です。
一般の合材よりも低い温度で施工できるなどいろいろなメリットがあります。

<中温化合物材のメリット>

- 今までよりも遠くに配達できるので、災害時も県内どこにでも運べます
- 夏の暑い日でも舗設温度を下げることで熱中症リスクを和らげます
- 解放温度になる時間が早まり、工事に伴う交通渋滞の緩和が期待できます
- 冬の寒い日でも施工性が良くなり品質を確保できます

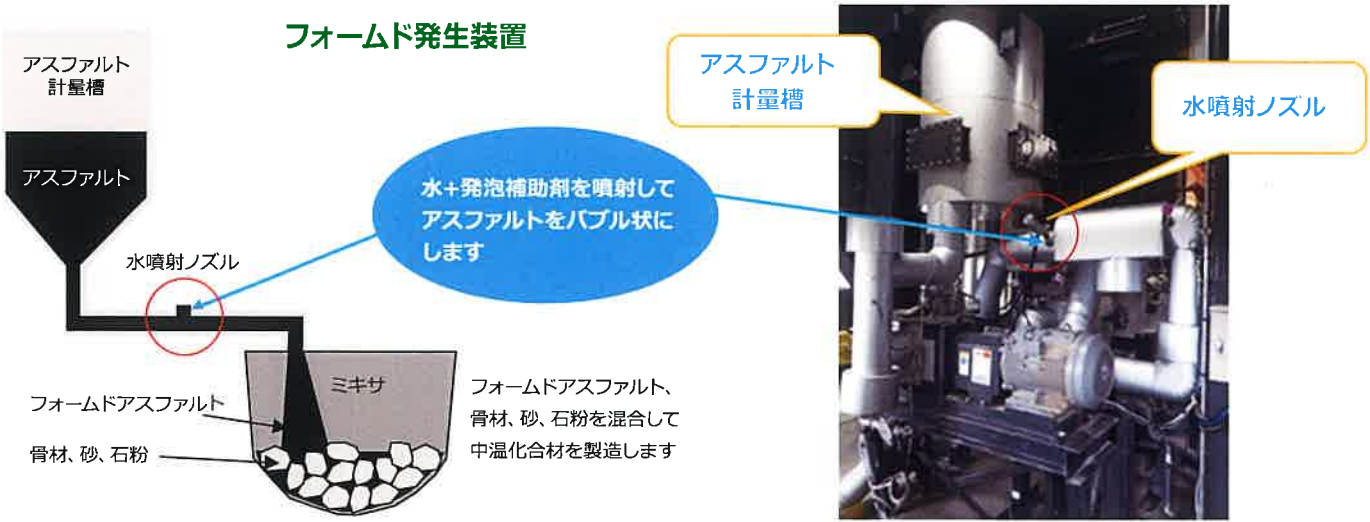


県内どこにでも運べます

<中温化技術の適用方法と期待される効果>

中温化技術の適用方法		期待される効果
温度低減	混合物製造	燃料の使用量削減による CO ₂ 排出量の低減
		化石燃料の使用量削減による資源の保全・保存
		製造時の温度低減に伴うアスファルトの熱劣化の抑制
	施工時	作業者の労働環境の改善
		交通開放に至るまでの時間短縮による工事渋滞の緩和、一般車両からの CO ₂ 排出量削減
		養生時間の短縮による日施工量の増大、規制日数の削減
		夏季や厚層施工時の初期わだち掘れの抑制
施工性改善	冬季や橋面、薄層の舗装施工での品質や施工性の確保	
	広域運搬での品質や施工性の確保	

日本政府は「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすること」を目標にしており、中温化技術はアスファルト混合物製造温度を低減するので、CO₂排出量の削減に貢献します。



中温化技術には材料による方法と装置（フォームド発生装置）による方法があります。どちらも温度低減、施工性改善に有効です。

<中温化技術>

中温化技術の種類			技術の内容	技術の概念
材 料	プラントミックス	中温化剤	混合物製造時に、アスファルトに特殊な添加剤を添加し、一時的に粘度を下げたり潤滑性を高めたりして製造温度を下げる技術 供用温度領域に下がるとその効果はなくなり、アスファルトは元の粘性に戻る	
	プレミックス	中温化アスファルト	アスファルトに中温化剤や特殊な改質剤を添加して性状を改良したもので、通常のアスファルトより製造温度を下げて製造できる 供用温度領域では、通常のアスファルトと同じ性状になる	
装 置	フォームド発生装置		混合物製造時に、機械装置によりアスファルトに水を添加することで発泡させ、一時的に粘度を下げ、製造温度を下げる技術 供用温度領域に下がると泡が消え、アスファルトは元の粘性に戻る	

アスファルト内に少量の水を噴霧して発生させた微細な泡のベアリング効果により、アスファルト混合物の製造温度や施工温度を最大30℃下げられます。

※アスファルト混合物の種類により下げられる温度は変わります



アスファルトがピーカーからあふれんばかりに発泡！

使用した感想として、猛暑の中でも通常の合材で舗装する時よりも涼しかったとの現場の声も聞きました。
装置式フォームドを用いた事前審査認定混合物取得も進んでいます。
千葉県道路舗装協会では中温化合物材を推進しています。